

科目名	障害児の発達と教育1（肢体不自由者）（1）					単位	1.0
担当教員	藪 一之						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	5605

●授業のテーマ

知的障害児の一人ひとりの教育的ニーズに寄り添う特別支援の理解と実践1

●到達目標

発達障害児を対象とした特別支援教育と従来の特殊教育の違いを理解し、児童生徒の実態に合わせた授業や教育活動を作り出す教師の視点に立った考察ができるようになる。

●学習内容(授業概要)

特別な教育的支援を必要とする児童・生徒について理解し、援助や支援の理解的な枠組みやあり方、具体的な教育方法について講じます。知的障害に分類される子どもは障害児教育では最も多数を占めることから、これらの障害についての正しい理解は障害児教育を学ぶ上で不可欠です。同時に、一人ひとりの教育的ニーズという意味では障害程度はもちろん、家庭・養育環境、学校や地域での学習・生活状況などによっても現れ方は様々で、簡単に一般化することはできません。そこで講義では具体的事例を掘り下げつつ、一人の子どもに寄り添うことから見えてくる障害児教育の普遍的な課題として一緒に考えて行きたいと思いません。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 自己紹介。知的障害児教育の実態と特性
2. 知的障害児教育の教育課程と学習特性
3. 知的障害児を理解する・教科指導と自立活動
4. 知的障害児を理解する・教育・福祉の視点から
5. 知的障害児を理解する・職業教育
6. 知的障害児を理解する・進路指導
7. 特別支援教育の動向と今後の課題

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として配布プリントに目を通し専門用語等事前に調べておくこと。事後は授業の疑問点、質問事項をミニレポートに記入し、自分なりの考察を立てて次回の授業で確認、検討のやりとりをします。

●成績評価方法・基準

各授業ごとのミニレポートとまとめのレポートを課します。授業の理解度(50%)と教師の視点に立った問題意識(50%)を評価します。

●テキスト（必携）

テキストは授業中にプリントで配布する予定です。

●参考文献／その他

キーワードブック 障害児教育—特別支援教育時代の基礎知識 [改訂増補版] クリエイツかもがわ

他に講義時にプリントで資料を配布する予定です。

●履修上の注意

各講義の終わり時間をとって毎回ミニレポート（800字程度）課します。感想、疑問でも結構ですが、常に当事者としての問題意識を持って記述、提出して下さい。

また、可能であれば現場見学も考えています。実現できた時には積極的に参加し、体験を通して学んでください。

「障害児の発達と教育1（肢体不自由者）（1）・（2）」の両方を履修して単位認定。